

第651回福崎町教育委員会会議録

開催日時 令和5年5月19日（金） 14時00分～16時30分

開催場所 福崎町立福崎東中学校 校長室

出席委員 高橋渉、桑谷祐顕、井奥智子、中田貴子、西村照明

事務局 学校教育課長 大塚謙一、社会教育課長 木ノ本雅佳

1、開会

2、650回議事の報告を会議録により行い、承認されました。本会の署名委員として桑谷委員・西村委員を指名しました。

3、教育長報告

(1) 園・小・中学校（4～5月の様子）

こども園では、気温差による体調不良の欠席が多かったです。その結果、気管支炎、下痢、中耳炎、薬アレルギーになった園児がいました。5月8日以降、職員はマスク着用、園児はしていない状況です。職員は不安があるので、自分や園児を守るためにマスクを着用しています。また、自転車のヘルメット着用が努力義務となったことを受け、園で斡旋するためヘルメット販売会社に連絡しましたが、連絡がとれない状況であるとの報告を受けました。浄化センター東側の公園について、どの園児も大変喜んで利用し、大好評です。園では地域行事に誘っていただき大変喜んでいきます。地域の行事にはどんどん参加してもらいたいです。ある園で、給食時に持ってきたご飯のみのお弁当を落とした園児がいたので、床についていない上の方のご飯を食べさせたところ、その園児の保護者からお叱りを受けたという事案がありました。

小学校、中学校では、高岡小学校は学校外からの不審者侵入の対応策を考えています。福崎小学校では、2年生に日本語が全く理解できないベトナムからの転入児童がありました。また、少しざわざわしているクラスがあり、担任の見守りと指導が必要と思っています。田原小学校には不定期に別室登校をする児童がいます。いつ登校してきてもきめ細かな対応ができるよう留意しています。八千種小学校では駄々をこねる1年児童に対して、どんな指導が効果的だろうかと留意しながら取り組んでいます。また、学期の途中から育児休暇に入る職員に対する代替教員が見つかりません。福崎西中学校では、雨天時の保護者の送迎が非常に多くなり、校門近くが渋滞するほど多くなっています。福崎東中学校は、不登校をはじめ、障害のある生徒、家庭環境について配慮を要する生徒など様々な点で個別の対応が必要な生徒が多い現状があります。

また、家庭訪問が終わり、ヤングケアラーと思われる児童生徒、担任の主観になります。状況を確認して報告を求めています。各校の課題として、不登校の子どもへの対応、若手教員と新任教員の育成をいずれの学校もあげています。今年度の運動会・体育大会の開催方法について、各校で今協議中です。PTAが主催する地区水泳については、各地区のPTAの意向に添うこととし、学校は開放できるよう準備

備をしておくように依頼しています。

学童保育園については、八千種小学校に学童保育の新設の要望があり、現在、調整中です。指導員の確保が1番の課題で、開設するには条例等の改正、参加人数の把握、議会の承認、教室環境の整備等、色々な課題の解決が必要ですが、前向きに取り組んでいます。また、今年度の1年生の登録者数は、現在東部37名、西部30名です。特別な支援の必要な児童が東部8名、西部6名いますので、きめ細かな指導に当たれるよう指導員の増員も要求したいと考えています。4月当初には申請せずに学童保育園に子どもを直接預けにこられる保護者が4名おられました。高学年の利用が増えている傾向にあります。また、夏休み等のスポット対応の指導員の勤務希望が午前中に集中するので、できれば、午後の指導員を増やしてほしいという要望がありました。

(桑谷委員) こども園で給食時に落としたご飯の上の方だけすくって食べさせたことについて、保護者の意見、園の対応、その先生への対応はどのようにされたのですか。

(大塚課長) 保護者は、衛生面に厳しい方であったので、床面についていない上の方だけをすくったとしても落ちたご飯を食べさせたこと、また、本人は3歳児ではあるけれども、0.1.2歳児用にこども園で炊飯しているので、なぜそれを食べさせてくれなかったのかということでご立腹でした。今後の園の対応として、米飯は0.1.2歳児用ではあるが運用上残ることがあるので、このような場合には柔軟に対応して提供すること、また、どのような場合であれ落ちたものは提供しないことを確認しました。

(桑谷委員) そのような対応をせざるを得ないとは思いますが、私はこの先生のとった行動は決して間違っていないと考えますし、非難されるものではないと思います。教育の現場は色々なことや色々な考え方、見方があって当然です。その先生は物を粗末にはしていません。一事が万事で、親から言われるから何もしない等、先生が萎縮しないよう配慮していただきたい。どうか、その先生に「先生の行動に共感します。これからも頑張ってください。」と伝えてください。

(西村委員) 福崎小学校に転入してきた2年生の日本語が全く理解できないベトナム国籍の児童のことが気になります。

(吉高) この児童とは別に、福崎小学校にはベトナム国籍の1年生の児童が入学することがわかっていましたので、4月から県費でベトナム語が話せる加配職員1名、加えて町費で日本語指導員1名を福崎小学校に配置しています。それらの職員が常時彼らの学校生活を支援している状況です。また、国語の授業は1年生のクラスに入って勉強する等、柔軟に対応しています。

(2) 報告・連絡事項

①八千種小校区における学童保育園の開設について

八千種小学校でアンケートを実施した結果、毎日だけでなくも参加するという世帯が85世帯中42世帯あり、約半数の保護者が参加させたいという結果でした。それを受けて、勤務時間や勤務内容を確認しながら指導員の確保にあたっています。また、施設改修、備品整備等の費用を見積もっているところです。何よりも正確な参加者

数の把握が必要かと思っています。

②遠野市訪問団員の募集について
学校教育課から詳しく報告します。

(3) 協議事項
特にありません。

(4) 意見交換
中学校教育の現状と課題について、福崎東中学校教頭から説明がありました。

(教育長) 数年前から部活動の朝練習がなくなっています。福崎西中学校も朝練習はなくなっています。その分、放課後の練習が長くできるようになっています。

全校生徒は294人ですが、地区別生徒数は長目3人、上中島0人、亀坪1人、西大貫2人、小倉3人等少ない地区がある一方、2学級ほどの田尻62人や辻川34人等、多い地区があり、PTA活動を一律に行うことが難しくなっています。

特別支援学級は3学級あります。自閉情緒学級の生徒が7名で、国基準では8名までは1学級、9名になると2学級になります。2学級になると人数が半分になるのでゆとりを持って、生徒に関わることができそうですが、特に支援の必要な子たちが7名になりますので、先生の支援が行き届かないことがないようにしたいと思っています。

(桑谷委員) 特別支援学級について、小学校で在籍していたらそのまま中学校でも在籍するのですか。それとも中学校からという場合もあるのですか。

(教頭) 小学校では特別支援学級に在籍し、中学校からは通常学級にという生徒もいます。そういった生徒の中には、週に1回程度、通級指導という形で、ソーシャルスキルトレーニングやコミュニケーションスキル等のトレーニングを受けている生徒もいます。

(桑谷委員) クラブ活動の状況はいかがでしょうか。また、今後、指導者を外部に委託することになっていますが、どのようなことを聞いておられますか。

(教頭) クラブの数については、陸上部、野球部、ソフトボール部、男女のソフトテニス部、男女の卓球部、男女のバスケットボール部、男女のバレーボール部、合唱部の全部で12の部活動があります。人数の多い部活、競技をするのに人数ぎりぎりの部活動もあります。また、地域移行に関しては、やはりいろいろな部分で危惧しているところがあります。例えば、野球では外部のクラブがたくさんありますし、バレーボールもできています。そのような中で、現在、部員数がぎりぎりの部活動が維持できるのか、あとは、競技によっては、指導をしていただける方を見つけるのが難しいところがあるのではないのでしょうか。地域移行がなかなか進まずに困っているのは、一番に指導者の問題かと思います。

(教育長) 特別支援学級について、保護者の意向により小学校で支援学級に入級する児童が随分増えたと思います。中学校では「支援学級から普通高校に行きにくいのでは。」という思いで、通常学級に変更される保護者がいらっしやいます。

また、部活動の地域移行については、近いうちに検討会的なものを開いて、いろいろな質問、疑問を出し合いながら進めていこうと思っています。

(西村委員) 若手教員の育成が肝要と言われておりましたが、教育現場で教員にとって負担が大きいと感じておられる部分はどのようなことでしょうか。

(教頭) 若手教員は、保護者対応に結構苦勞しているように思います。教員自身が研修を進めなければいけないところですが、メールでのやりとりは結構長けているのですが、実際に保護者の思いを受け止めて、受け止めたうえで、こちらの思いを伝えていくことが必要ですが、自分の考えを伝えることに一生懸命になってしまい、保護者に思いを伝えることに苦勞していることがあります。また、先ほどの地域移行にも関係するのですが、部活動を一生懸命やることで、生徒とのつながりができると感じているところもある一方、その部分が少し負担になるというようなことがあります。

(西村委員) 学校外での研修には参加されていることと思いますが、学校内での人材を育成するために取り組まれていることはありますか。

(教頭) 学校の事務分掌をベテランと若手を正副で組み、学級担任が若手の場合は、適切なアドバイスができるベテランを副担任という体制をとっています。また、若手教員の研修も初任の時の研修だけではなく、2年次、3年次にもそれぞれの研修がありますので、研修で学んだことをお互いに情報共有するようにしています。

(教育長) 郡内には中学校が4校あり、学校も生徒も約半数が福崎町です。よって、教員数も、市川町、神河町に比べて多いです。ですから、福崎町に新任の配属される割合が多いです。小学校に関しては、1学年で複数のクラスがあるのは、福崎町の福崎小と田原小、それから神河町の神崎小学校の3校しかありません。それ以外は全部1学年1クラスで、各学年1クラスになれば、育休産休の先生のこともあり、新任が配置しにくいです。ここ数年の傾向では、福崎、田原、神崎小にしか新任が配置されていない。だから、どんどん若返って活力のある学校になっていくことを期待しています。その反面、教頭が言ったように、保護者対応や学校の中の仕事の不慣れがあるのですが、その点は、若さや活力でカバーしてほしいと願っています。

(桑谷委員) 先生方のメンタル面は、大丈夫ですか。

(教頭) お互いにコミュニケーションを取りながら、ベテランが自分たちの体験談を「こんなふうには失敗したけれども、こんなふうにして良くなったよ」というような話をしています。

(桑谷委員) 今、企業でも、離職率が非常に高いです。いっぱい希望を持って先生になったのに、辞めるに辞められない、どうしようと考え込む、学校に行くのが怖いとかそういう話がなければいいなあと思います。福崎町に来てもらったのですから、この中で頑張ってもらいたいです。

(西村委員) 今でもマスクは着用していますか。

(教頭) 習慣としてマスクをしている生徒が多いのですが、登下校中は外している生徒もいます。これからの季節は熱中症が危惧されますので、適切に指導しているところです。

(西村委員) 学校の年間イベント等について、前年度、前々年度等のことが参考にならない中、手探り状態で一つずつこなされていることと思います。子どもたちの思い出づくりのための行事をすべて今まで通りに戻すのは難しいですが、先生方、保護者、地域の方々が手を握りあって、頑張ってくださいたいです。

(教育長) 先生のマスク着用と生徒の部活動時のマスク着用はどうか。

(教頭) まだ着用している教師も多いですが、これからの時期は教師が外さないで生徒も外さないと思っています。また、部活動では極力外すように言っています。

(5) 6月の予定

資料に基づき説明しました。

次回教育委員会は6月30日(金)午前10時15分から開催します。

4、報告事項

〈学校教育課〉

(1) 「トライやる・ウィーク」について

資料に基づき報告しました。中学2年生が体験学習を行う「トライやる・ウィーク」は、6月5日から9日までの5日間の予定で実施します。5月10日に福崎町トライやる・ウィークの推進協議会と指導ボランティア会議を開催し、今年度の活動内容について確認しました。5月10日現在の受入事業所は59事業所で、東中106人、西中72人の計178人が参加する予定です。

(2) 遠野市との児童交流事業について

資料に基づき報告しました。柳田國男先生ゆかりの地という結びつきから平成26年8月23日に福崎町と遠野市が友好都市共同宣言の調印を行い、文化教育観光などの交流の幅を広げております。昨年度に引き続き今年度も実施し、対象児童は小学校6年生の15人、8月27日(日)から29日(火)の2泊3日です。福崎町を朝8時に出発し、伊丹空港から花巻空港に12時25分着予定で、帰りは花巻空港を16時に出発し福崎町には19時30分頃に着く予定です。交流概要については、現在調整中です。参加費用は、児童一人につき2万円としています。引率者は5人で、教育長と小学校長代表1人、教諭1人、養護教諭1人と学校教育課1人です。現在申込み中で、期限は5月31日までですが、既に定員を超えており、申込み締切り後、公平公正に抽選会を実施して、参加児童を決定します。

(3) 入札結果について

資料に基づき報告しました。福崎小学校トイレ改修工事は、(株)ハマダが税込み7,964万円で落札しました。高岡小学校トイレ改修工事は、(株)神名工務店姫路支店が税込み7,799万円で落札しました。八千種小学校トイレ改修工事は、(株)神名工務店姫路支店が税込み8,338万円で落札しました。小学校トイレ改修工事の工事監理業務委託は、(株)鷺尾建築設計事務所が税込み312万4000円で落札しました。

(4) 建設工事等の進捗状況について

資料に基づき報告しました。

(5) その他

6月定例議会提出議案について、入札結果で説明した福崎小学校、高岡小学校、八千種小学校のトイレ改修工事の工事請負契約の学校ごとの議案の提出を予定していることを報告しました。

〈社会教育課〉

(1) 三木家指定管理の事業報告について

資料に基づき報告しました。令和4年度は、コロナ感染症の影響が残る中での指定管理となりましたが、利用者は年間2,730人でした。収支差引額の年間合計は、約567万円の黒字となっていますが、収支差引額から借入金返済や修繕、退去の際の収去積立金を差し引いた合計額は、約267万円の赤字と報告を受けています。

(2) 地域文化財総合活用推進事業について

資料に基づき報告しました。令和5年度は、令和4年11月21日付文書で各自治会、各保存会にお知らせをしたところ、後継者養成は2団体、用具等整備は9団体から申請がありました。両事業で1,698万9,060円の要望額に対し、国から827万5,000円の配分の内示があり、採択率は97.35%でした。また、5月16日に開催した文化遺産活性化実行委員会で、各団体への補助金配分額を決定しました。

また、文化庁から2次募集があり、5月1日付で各自治会、各保存会にお知らせをしました。取りまとめた後、県を通して国に申請し、配分額確定後、文化遺産活性化実行委員会で各団体への補助金配分額を決定していきます。

(3) 今後の予定

資料に基づき報告しました。

5、閉会

以 上

署名委員 桑 谷 祐 顕

署名委員 西 村 照 明